

トークセッション

写真家 小原王明 × 絵本作家 三枝三七子

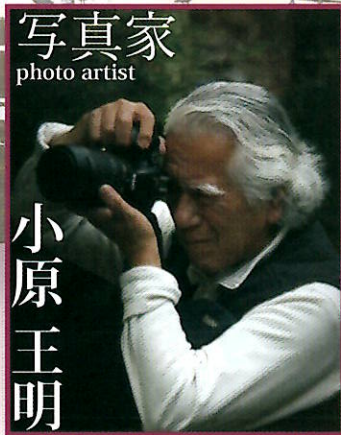
トークテーマ 『善 罪 水』

熊本の公害病「水俣病」、そして阿賀野川「新潟水俣病」それぞれの取材をきっかけに知り合った二人のアーティストによるトークイベントが開催されます。

日時：2022年10月22日(土) <開場：午後1時30分 開演：午後2時～午後4時まで>

場所：新潟日報メディアシップ 6階ナレッジルーム ※参加費：無料

人が美しい自然環境と正しく共存していくためにはどうすべきか、水俣病被害者の現状や苦悩をどのように伝えていくのか、二人の「表現者」のクロストークに、ぜひ耳を傾けてください。



こはら きみはる Kohara Kimiharu



みえだ みなこ Mieda Minako



著書：絵本
「みなまたの木」
創英社(2011)
カラー 44ページ

著書：写真集
「AGA MINAMATA
～水俣病は終わらない～」
新潟日報社(2018)
カラー 143ページ

プロフィール

日本写真協会会員。新潟県写真家協会理事。
東京生まれ。中学2年生から機関車を撮り始める。
33歳のとき東京から新潟に転勤。白鳥と出会い、中心的被写体が見つかる。
SI会社経営を55歳で引退し、ライフワークとして自然系カメラマンになる。
2011年5月北九州小倉で第1回個展開催「カメラで絵画のように パート1」以降、毎年定期的に各地で写真展を開催。
2011年10月 新潟県芸術写真協会コンテストにてグランプリ受賞「真眼」
2012年10月 新潟県芸術写真協会コンテストにて審査員特別賞受賞「白鳥」
2014年から水俣病患者ドキュメンタリー写真を撮り始める。
2017年 メディアシップそらのギャラリーで「AGA MINAMATA」写真展を開催。
2018年 写真集「AGA MINAMATA-水俣病は終わらない-」(新潟日報社)出版。
2019年 同写真集が全国新聞社出版協議会優秀賞受賞。

プロフィール

東京造形大学美術1類中退。あとさき宿3期生。著作に「じゃぶじゃぶパパ」「ぼっかばかのおまじない」(偕成社)など。
大阪府内で生まれ東京都内で育つ。2013年から長野県北安曇郡に移住。知育・お話し絵本を制作するかたわら、「ワルルさん」(くもん出版)などで挿絵も手がける。また、ノンフィクションでは、「よかたい先生 水俣から世界を見続けた医師 原田正純」(学研教育出版)が2014年の読者感想文全国コンクール課題図書に選定される。
2008年に熊本県水俣市立水俣病資料館を訪ねたことが契機となり、その後、取材を重ねる。
2011年、初めてのノンフィクション絵本「みなまたの木」出版。
2019年、メディアシップそらのギャラリーで絵本「みなまたの木」原画展を開催。

小原王明写真展「-Agano River- 阿賀野川と生きていく」

新潟日報メディアシップ 20階 そらのギャラリー

日時：10月16日(日)～29日(土) (入場無料)

鑑賞時間(メディアシップ開館時間) 午前8時～午後11時

主催：新潟水俣病阿賀野患者会 お問い合わせ：025-244-0178

企画・運営：写真展「阿賀野川と生きていく」プロジェクト(水俣病問題に関心のある市民・学生で構成)

後援：新潟県 新潟市 阿賀野市 五泉市 阿賀町 新潟日報社 朝日新聞新潟総局 読売新聞新潟支局 (株)新潟フジカラー (有)高梨/タカナシカメラチェーン 毎日新聞新潟支局 産経新聞新潟支局 BSN新潟放送 NST新潟総合テレビ TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21

